

学校教育相談		担当教員：五浦哲也	2単位
設 題	<p>設問：テキスト『教育相談の理論と方法』を参考に、以下の①～⑤の課題から1つを選択して記述してください。※<u>自らの考えも含めて</u>記述してください。(規定字数1800字以上)</p> <p>※選んだ番号をレポートの最初に記載してください。</p> <p>※説明と考えは明確に書き分けてください。</p> <p>※下線部分(内容を関連づけつつ)は、どのように関連づけたかが分かるように記述してください。</p> <p>※レポート末尾に(字数)を表記してください。</p> <p>①効果的な学校におけるチーム支援を構築していくために重要なことは何であると考えますか。て第13章(学校全体で進める教育相談)、第14章(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの役割)、第15章(専門機関との連携)の<u>内容を関連づけつつ自らの考え</u>を記述してください。</p> <p>②教員として不登校の生徒や保護者にどのような教育相談活動を実施していく際、どのように取り組んでいきたいと考えますか。第10章(不登校(園)と教育相談)の内容と第2章(教育相談に関わる心理学の基礎的な理論)と第4章(カウンセリングの基本技法)において関心のある内容のキーワードを用いて自らの考えについて記述してください。</p> <p>③思春期・青年期にある生徒への教育相談を行う場合、どのような点に留意して行いますか。第1章(学校における教育相談の意義と課題)と第8章(思春期・青年期の発達課題と教育相談)の<u>内容を関連づけつつ自らの考え</u>を記述してください。</p> <p>④第2章(教育相談に関わる心理学の基礎的な理論)と第4章(カウンセリングの基本技法)において自らが最も着目している教育相談に関わる心理学の基礎的な理論と理由、そして、その理論を実践で活用する上であなたが身に付けている基本技法とこれから身に付けていきたい基本技法について理由を含め記述してください。</p> <p>⑤教員としていじめの未然防止、早期発見、早期対応などにおける対応について、第9章(いじめ問題への対応)と第1章(学校における教育相談の意義と課題)の<u>内容を関連づけつつ</u>、教育相談の視点からどのように取り組んでいくかについて<u>考えを述べて</u>ください。</p>		
作成方法は「ワープロ(推奨)」又は「筆記」			
ワープロ	用紙等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等(無地)		
筆 記	筆記用具：ボールペン(黒)・鉛筆・シャープペンシル(HB)		
	用紙：市販のレポート原稿用紙		
文字数等	設問毎に指定、横書き		

注意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・テーマを的確に理解して、適切な段落で文章を構成すること。</li><li>・テーマの内容は教科書だけでは十分に答えられないものもある。他の文献などにもあたり、作成すること。</li><li>・教科書又は他の文献の丸写しは不可です。自分が理解した言葉で書きなさい。</li><li>・必ず作成した原稿を読み返して、誤字・脱字等のないように留意しなさい。</li></ul>
------	--